



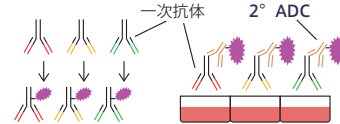
ADC 候補一次抗体のスクリーニングに便利な二次抗体 2° ADC (Secondary Antibody-Drug Conjugate)

2° ADC とは「細胞傷害性薬物」と「二次抗体」が切断可能/不可の「リンカー」で結合したユニークな製品です。

※本製品は研究用です。研究用以外には使用できません。

がん細胞に対する ADC (細胞傷害性薬物を結合させた抗体) 候補のモノクローナル抗体をスクリーニングする際、従来のアプローチでは、各一次抗体に薬物を結合させ、細胞毒性アッセイに使用していました (図左) が、これは手間やコストがかかり、費用も高くなります。2° ADC は、モノクローナル抗体に細胞傷害性薬物を結合させる代わりに、二次抗体に細胞傷害性薬物を結合させた製品です。2° ADC の存在下では、未標識のモノクローナル抗体を細胞に直接添加してアッセイに使用することができます (図右)。

ここがすごい



2° ADC の形状

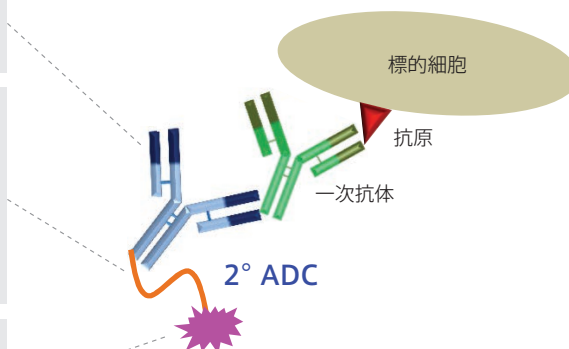
Full Length IgG Fab Fragment

リンカー (一部の製品は以下の 2 種類から選択できます)

- ・ Cleavable Linker (開裂: 開裂可能なタイプ)
細胞内で酵素によりリンカーの結合が切断され、薬物が放出される。この際、薬物が標的細胞外にも放出され、隣接する細胞にも細胞死を誘導できる。
- ・ Non-Cleavable Linker (非開裂: 開裂しないタイプ)
標的細胞に取り込まれた 2° ADC がアミノ酸レベルまで分解されると、アミノ酸-リンカー-細胞傷害性薬物が機能し、細胞死を誘導する。

細胞傷害性薬物

- ・ チューブリン阻害物質: DM1, MMAE, MMAF
- ・ DNA 損傷薬物: デュオカルマイシン (DMDM), PBD, PNU
- ・ RNA ポリメラーゼ II/III 阻害物質: AAMT
- ・ トポイソメラーゼ I 阻害物質: DX8951



[メーカー: MOR]

細胞傷害性薬物	リンカー	Full length IgG			Fab Fragment	
		Anti-Human		Anti-Mouse	Anti-Human	Anti-Mouse
		Fc Specific	Fab Specific	Fc Specific	Fc Specific	Fc Specific
商品コード						
AAMT (α-Amanitin)	非開裂	—	—	—	AH-205AM	—
DM1	非開裂	AH-103D1	AH-123D1	AM-103D1	AH-203D1	AM-203D1
DMDM (Duocarmycin DM)	開裂	AH-102DD	—	AM-102DD	AH-202DD	AM-202DD
DX8951 (Exatecan Mesylate)	開裂	AH-107DX	—	AM-107DX	AH-207DX	—
MMAE (Monomethyl Auristatin E)	開裂	AH-102AE	AH-122AE	AM-102AE	AH-202AE	AM-202AE
MMAF (Monomethyl Auristatin F)	開裂	AH-102AF	AH-122AF	AM-102AF	AH-202AF	AM-202AF
PBD (Pyrrolobenzodiazepine)	非開裂	AH-101AF	AH-121AF	AM-101AF	AH-201AF	AM-201AF
PNU (PNU159682)	開裂	AH-106PB	—	AM-106PB	—	—
包装 (商品コード末尾) / 価格	20 µg (-20)	¥60,000	¥67,000	¥68,000	¥79,000	¥90,000
	50 µg (-50)	¥120,000	¥133,000	¥136,000	¥158,000	¥180,000

※一部抗ウサギ, 抗ラットの製品もあります。詳細はフナコシ Web をご覧下さい。

ADC (Antibody-Drug Conjugate) 作製受託サービス

ご希望の抗体に薬物を結合した ADC (抗体・薬物複合体) を作製します。

※本サービスは研究用です。研究用以外には利用できません。

[メーカー: MOR]

こちらもおススメ



Web ページ番号

65361



フナコシ株式会社は2023年2月11日、
創業100周年を迎えます。

つないで、進む
FRONTIERS IN LIFE SCIENCE

